

図書館だより 91

問い合わせ先
上野村図書館
☎・FAX59・2460

村民の身近な本棚、交流の場・井戸端として親しまれる上野村図書館。
居心地の良い図書館をめざします！！本年もどうぞよろしくお願い致します。
読み初め(ヨミゾメ)は1月4日(金)10時から開館しています。



●新着図書

- 『鼠、恋路の闇を照らす』 赤川次郎(KADOKAWA)…今宵も江戸を駆け巡る!次郎吉
- 『それでも空は青い』 荻原浩(KADOKAWA)…読み始めと読み終わりで風景が変わる
- 『熱帯』 森見登美彦(文藝春秋)…新しい世界の扉が開かれます
- 『夜汐』 東山彰良(KADOKAWA)…惚れた女のために命を懸ける
- 『花だより みをつくし料理帖 特別編』 高田郁(角川春樹事務所)…おいしい食べものが絆をつなぐ
- 『口訳万葉集／百人一首／新々百人一首』 折口信夫ほか(河出書房新社)…読み初めに

●2018年上野村図書館ベストリーディング(よく読まれた本)

文藝

- 『おらおらでひとりいぐも』 若竹千佐子(河出書房新社)
- 『屍人荘の殺人』 今村昌弘(東京創元社)
- 『三千円の使いかた』 原田ひ香(中央公論新社)
- 『羊と鋼の森』 宮下奈都(文藝春秋)
- 『たゆたえども沈まず』 原田マハ(幻冬舎)
- 『百年泥』 石井遊佳(新潮社)
- 『魔力の胎動』 東野圭吾(KADOKAWA)
- 『銀河鉄道の父』 門井慶喜(講談社)

昨年図書館でよく読まれた本です。
みなさんの記憶に残った最良の
一冊はどの本でしょうか？
まだの方は図書館で!

趣味・実用

- 『うまいぞ!シカ肉 捕獲、解体、調理、販売まで』 松井賢一(農文協)
- 『世界一美味しい煮卵の作り方』 はらぺこグリズリー(光文社)
- 『缶詰博士・黒川勇人の缶詰本 ラクラク!』 黒川勇人(辰巳出版)
- 『やさしいおむつはずれ』 帆足英一(赤ちゃんとママ社)

5年連続ランクイン

くらし

- 『鑑定図鑑日本の樹木 枝・葉で見分ける』 三上常夫(柏書房)

えほん

- 『おはようのえほん ちいさなしかけえほん』 いしかわこうじ(童心社)
- 『おちゃわんかぞく』 林木林(白泉社)



●えほん

上野村では、新年を迎えて最初に動き出すのが子どもたちの初絵売り。七福神(宝船)、金の成る木、福の神、目出鯛(大黒様)の初絵を売り歩きます。縁起物なので神棚にはります。

お正月に読んでほしい絵本を紹介します。

- 『七ふくじんとおしょうがつ』 山本やすえ(教育画劇)…宝船にのってとしがみさまにあったよ!
- 『はつてんじん』 川端誠(クレヨンハウス)…落語絵本 初天神でのひと騒動 笑えます!

毎月15日は「^{うちどく}家読の日」です。

それぞれのご家庭で、ぜひ取り組んでみてください。

心を育む絵本とわらべうた

1月10日(木) 神村秀子先生
1月16日(水) 横山 由美子先生
10時から